

The main paycloud logo, with a stylized 'pc' monogram in grey and black, followed by the word 'paycloud' in a bold, black, sans-serif font.

2024年8月期通期 決算説明資料

ペイクラウドホールディングス株式会社
東証グロース：4015

2024年10月15日

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 決算ハイライト
3. 来期計画について
4. 事業別業績・指標
5. Appendix

1. 連結業績及びビジネス概況

2. 決算ハイライト

3. 来期計画について

4. 事業別業績・指標

5. Appendix

2024年8月期通期 業績概況および最新情報

1. 通期連結業績：

調整後EBITDAは721百万円で前年同期比+62.8%^(注1)。
営業利益は337百万円で前年同期比+120.3%^(注1)
で過去最高を計上。売上高は68.5億円。

2. 2025年8月期連結業績予想：

売上90億円、調整後EBITDA10億円、営業利益5億円。
EBITDAマージンおよび営業利益率は、前年度比較で上昇。

3. 中期経営計画の進捗：

2025年8月期の売上高70億円に対し、90億円を想定。
足下の高成長を背景に、将来の利益成長実現のために、
キャッシュレスサービス事業への投資を加速。

(注) 1. 変則決算除く。旧アララの2022年9月～2023年8月（12か月分）及びバリューデザインの2022年7月～2023年8月（14か月分）を集計した場合の実績。

2024年8月期 通期連結業績概況

売上高／前年同期比

6,853 百万円 /
 2,750 百万円 (注)
 対 変則決算除く : + 2,750 百万円
 対 変則決算 : + 2,377 百万円

- 前年は、旧アララの2022年9月～2023年8月及びバリューデザインの2022年7月～2023年8月（14か月分）を連結した変則決算。
- 変則決算を除いた前期実績（バリューデザイン2022年7月・8月分を除く）と比較するとクラウドポイント社の業績の連結開始により、売上高が前年同期比2,750百万円増加。

調整後EBITDA／前年同期比

721 百万円 /
 278 百万円 (注)
 対 変則決算除く : + 278 百万円
 対 変則決算 : + 220 百万円

- 第3四半期において、デジタルサイネージ関連事業の需要増、特定顧客の一時的な導入増が売上増加に寄与。キャッシュレスサービス事業のリカーリング収益の積み上げもあり、721百万円の着地。
- 変則決算を除いた前年同期比で+60.9%増加。

※2024年8月期より「株式報酬費用」をEBITDAに含めて算出
 ※営業利益、減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）、株式報酬費用の合計

売上高達成率／調整後EBITDA達成率

売上高達成率

99.3%

調整後EBITDA達成率

111.0%

- 通期業績は、6/20開示の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」における業績予想に対して、売上高達成率99.3%とほぼ想定どおり。調整後EBITDA達成率は111.0%と想定を上回る着地。

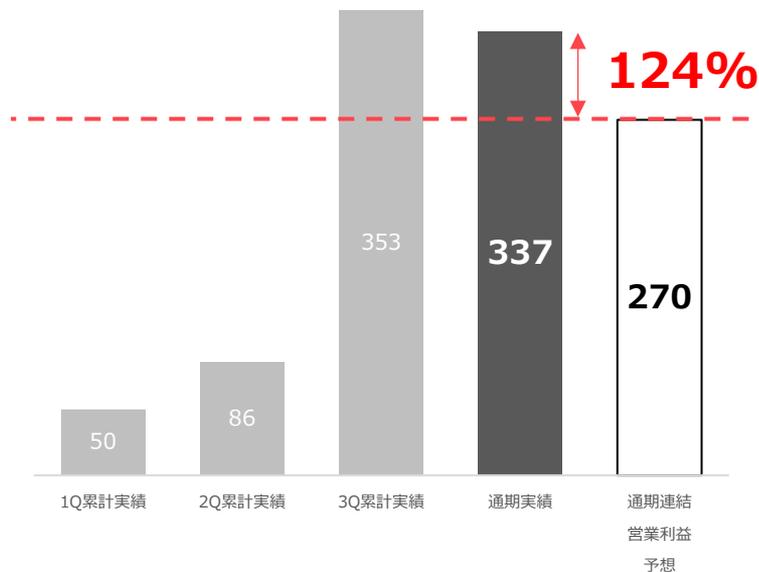
(注) 変則決算除く：旧アララの2022年9月～2023年8月（12か月分）及びバリューデザインの2022年9月～2023年8月（12か月分）を集計した場合の実績
 変則決算：旧アララの2022年9月～2023年8月（12か月分）及びバリューデザインの2022年7月～2023年8月（14か月分）を連結した変則決算

2024年8月期 連結営業利益・連結EBITDAの予想に対する実績

6/20開示の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」における連結営業利益・連結EBITDA予想に対し、連結営業利益は124%となる337百万円・連結EBITDAは111%となる721百万円を計上。

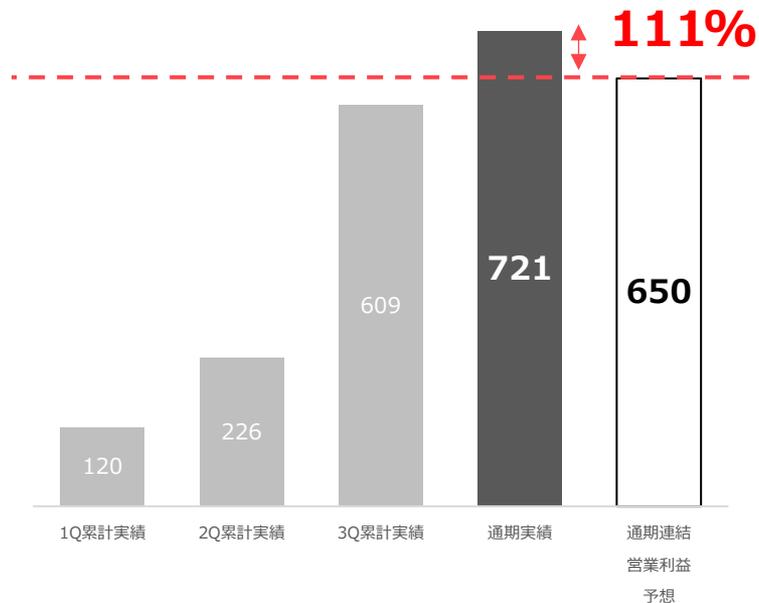
累計連結営業利益

(単位：百万円)



累計連結EBITDA

(単位：百万円)



1. 連結業績及びビジネス概況

2. 決算ハイライト

3. 来期計画について

4. 事業別業績・指標

5. Appendix

2024年8月期 通期業績概要（連結損益計算書）

連結売上高は変則決算を除いた場合の前年同期比で+2,750百万円(+67.0%)増加。調整後EBITDAは前年同期比で+278百万円(+62.8%)増加し、変則決算を含む前年同期を超える721百万円を計上。

	2023年8月期 通期 ^{注1}	2023年8月期 通期 ^{注2}	2024年8月期 通期実績 前年同期比 (対 変則決算除く)	2024年8月期 通期業績予想 ^{注3}	主な要因
(単位：百万円)	(変則決算含む)	(変則決算除く)		(連結)	
売上高	4,476	4,103	6,853 +2,750	6,900	売上高（達成率99.3%）： ・クラウドポイント社との経営統合によるデジタルサイネージ関連事業の売上増加
調整後EBITDA ^{注4}	501	443	721 +278	650	・キャッシュレスサービス事業の新規サービス導入の遅れ、受注済み顧客に起因するサービス展開の期ズレ
営業利益	163	153	337 +184	270	調整後EBITDA（達成率111.0%）： ・デジタルサイネージ関連事業の第3四半期における一時的な調整後EBITDA増
経常利益	133	123	320 +196	—	・キャッシュレスサービス事業における新サービス向けの原価を削減
税金等調整前 当期純利益	135	—	322	—	
当期純利益	114	—	74	—	詳細は次ページ参照

(注) 1. 旧アララの2022年9月～2023年8月（12か月分）及びバリューデザインの2022年7月～2023年8月（14か月分）を連結した変則決算
(注) 2. 旧アララの2022年9月～2023年8月（12か月分）及びバリューデザインの2022年9月～2023年8月（12か月分）を集計した場合の実績
(注) 3. 2024年6月20日付「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を参照
(注) 4. 2024年8月期よりEBITDAの調整項目に株式報酬費用を追加：調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む） + 株式報酬費用。
それに伴い、2023年8月期の調整後EBITDAについても同様の算定方法で算出した数値を記載しております。

2024年8月期の法人税等合計額について

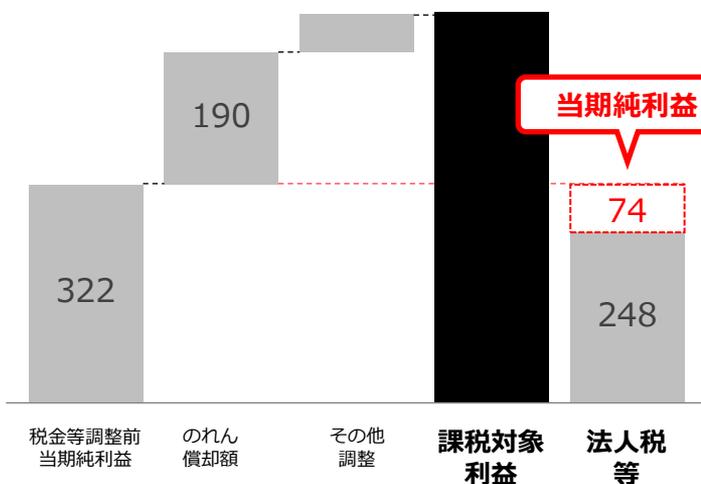
2024年8月期の法人税等合計額は、課税対象利益が増加し248百万円を計上。

2025年8月期以降、クラウドポイント社の通期業績の連結で、年間のれん償却額は約260百万円を計画^{注1}。

グループ通算制度^{注2}により課税対象利益を抑えることができるため、税負担率は下がり当期純利益は増額すると想定。

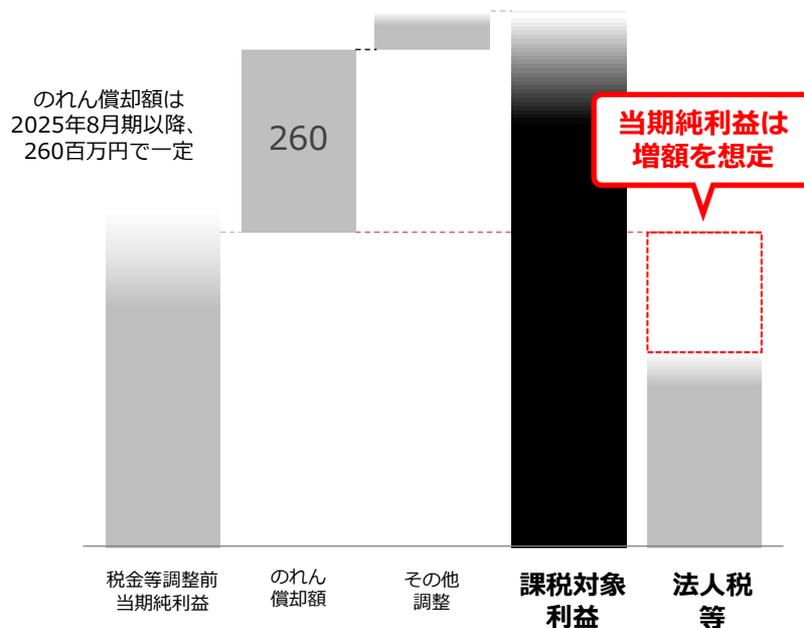
2024年8月期

(単位：百万円)



2025年8月期

(単位：百万円)



(注) 1. 新たなのれん償却額が増額しないことを前提としております。
 (注) 2. 2024年9月2日公表「グループ通算制度の適用開始に関して」を参照。

2024年8月期 通期業績推移（連結損益計算書）

第4四半期の連結業績実績は、対前年同期比、増収・減益。対第3四半期比、減収・減益。
 第3四半期のデジタルサイネージ関連事業の想定以上の一時的な売上・利益から想定通りのレベルに着地^{注1}。
 株主優待制度の新設、発行済ストック・オプション費用増等により、営業利益▲15百万円となるが、調整後EBITDA^{注2}は、キャッシュアウト費用を含まないため+111百万円で着地。

(単位：百万円)

2024年 8月期 (四半期単位)	1Q	前年同期比 (%) (対 変更決算除く)	2Q	前年同期比 (%)	3Q	前年同期比 (%)	4Q 実績	前年同期比 (%)	2024年8月期 通期業績予想 ^{注3}	2024年8月期 通期実績
売上高 前年同期比 +/-	1,039 (+167)	119%	951 (▲58)	94%	2,825 (+1,759)	265%	2,038 (+882)	176%	6,900	6,853
調整後 EBITDA	120 (+91)	414%	106 (▲33)	76%	383 (+230)	250%	111 (▲14)	89%	650	721
営業利益	50 (+99)	-	36 (▲28)	56%	267 (+185)	327%	▲15 (▲72)	▲28%	270	337
経常利益	46 (+99)	-	31 (▲29)	52%	266 (+189)	347%	▲23 (▲62)	▲59%	-	320
当期純利益	▲1 (+34)	-	▲13 (▲70)	-	152 (+112)	386%	▲63 (▲105)	▲152%	-	74

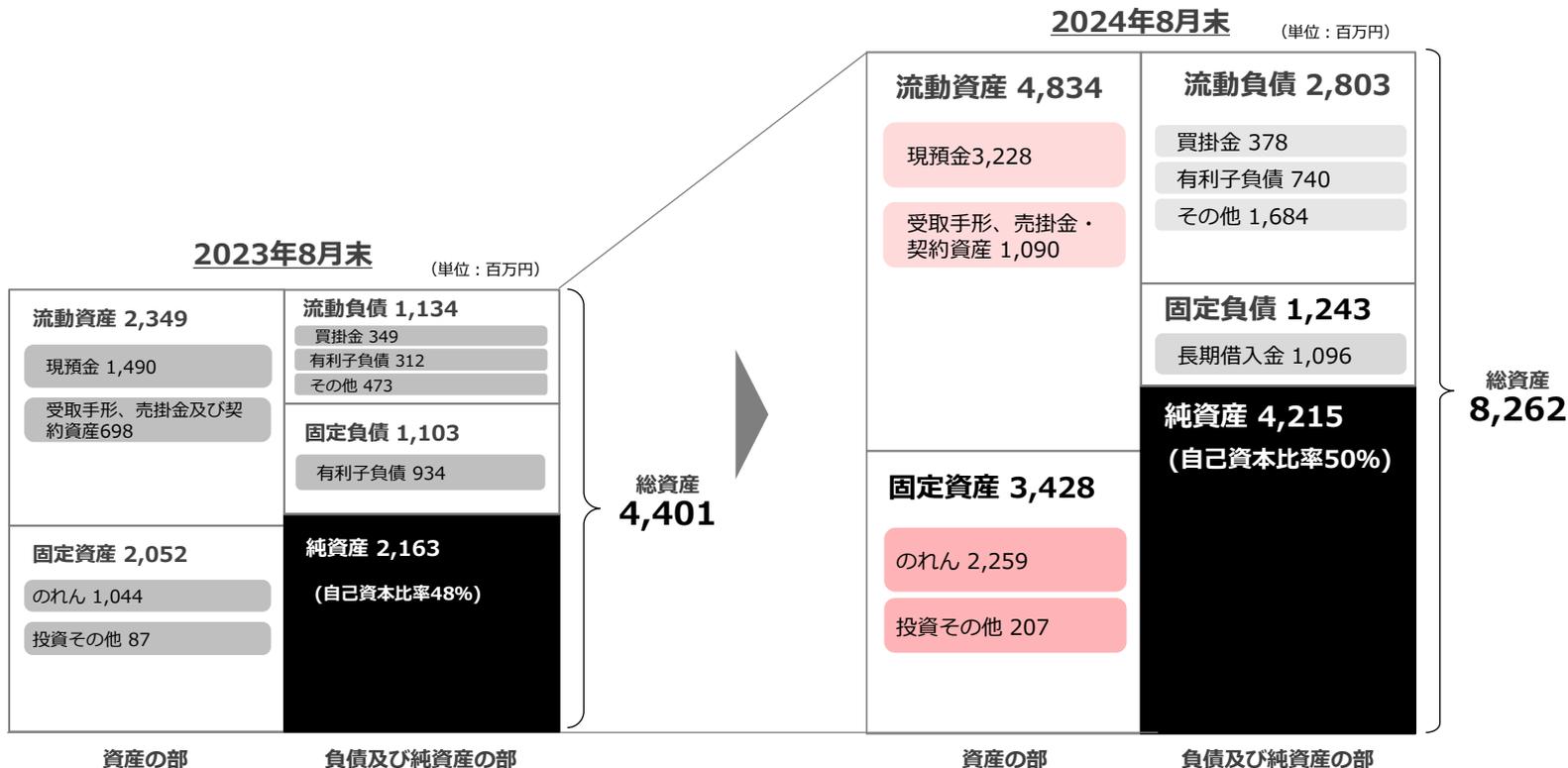
(注) 1. 2024年7月12日付「2024年8月期第3四半期決算説明資料」P10を参照

(注) 2. 2024年8月期よりEBITDAの調整項目に株式報酬費用を追加：調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む） + 株式報酬費用

(注) 3. 2024年6月20日付「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を参照

2024年8月期 通期業績概要（連結貸借対照表）

2024年3月1日のクラウドポイント社との経営統合、およびその後の好調な業績推移により、総資産が82.6億円、純資産は42.1億円となった。2025年8月期からは、のれんの年間償却額を約2.6億円と想定。



1. 連結業績及びビジネス概況

2. 決算ハイライト

3. 来期計画について

4. 事業別業績・指標

5. Appendix

2025年8月期 通期連結業績予想

2025年8月期はクラウドポイント社の業績をフル連結。通期売上高は9,000百万円、調整後EBITDAは1,000百万円、営業利益は500百万円と予想。

(単位：百万円)	2024年8月期 通期実績	2025年8月期 通期業績予想	予想・実績比較 (成長率)
売上高	6,853	9,000	+ 2,147 (131%)
調整後EBITDA ^{注1}	721	1,000	+ 279 (138%)
EBITDAマージン	10.5%	11.1%	
営業利益	337	500	+ 163 (148%)
営業利益率	4.9%	5.5%	

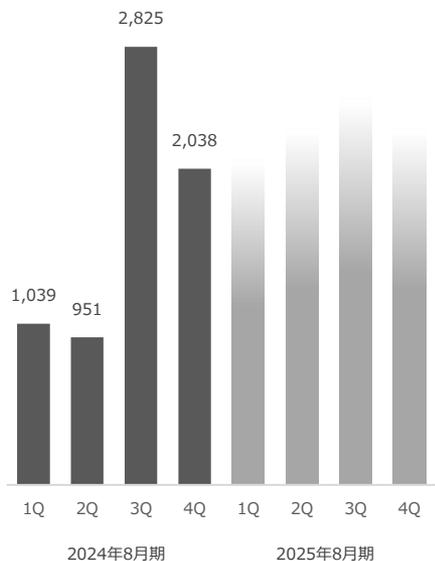
(注) 1. 2024年8月期よりEBITDAの調整項目に株式報酬費用を追加：調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む） + 株式報酬費用

2025年8月期の四半期業績推移について

第1四半期からキャッシュレスサービス事業に対する投資を加速させるため、調整後EBITDA及び営業利益については、第2四半期から徐々に増加する見通し。第4四半期は株主優待等の費用も見込む。

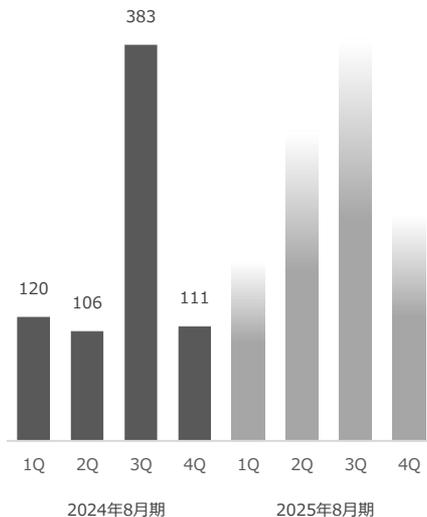
売上高

(単位：百万円)



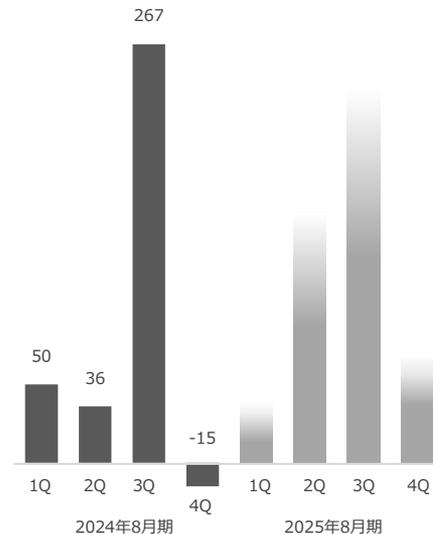
調整後EBITDA

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)

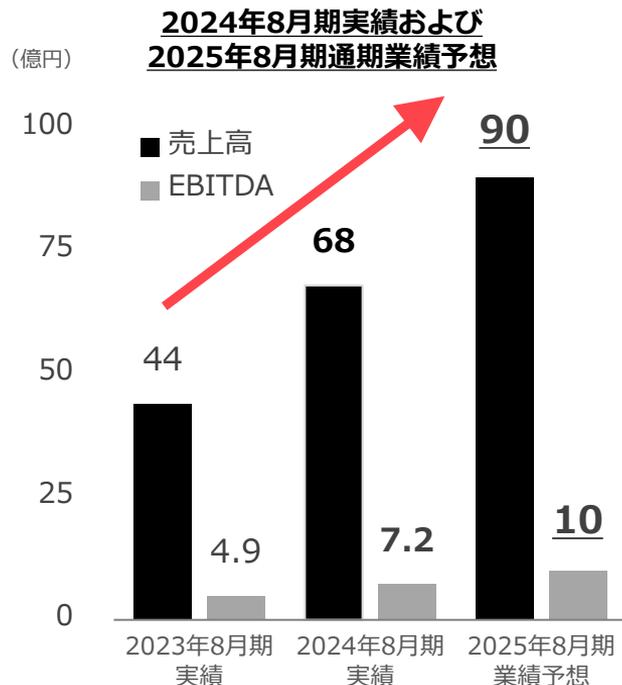
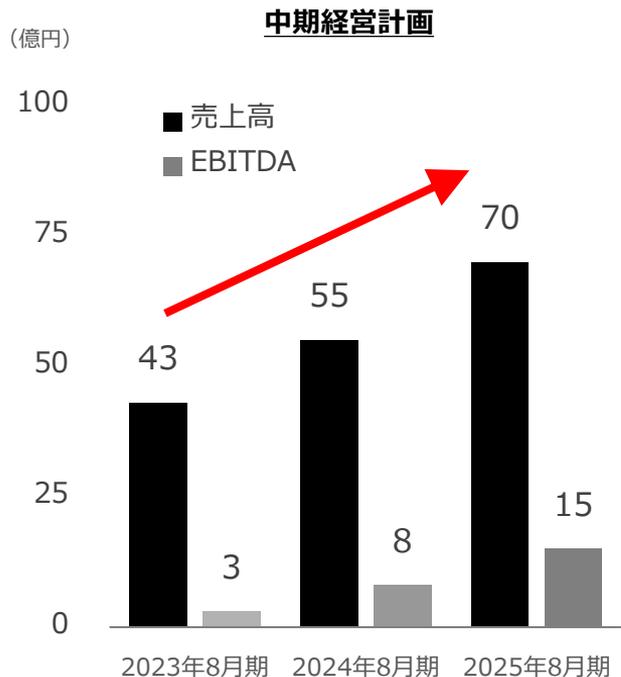


(注) 2024年8月期第3四半期よりクラウドポイント社の業績を連結。

(注) 2024年8月期よりEBITDAの調整項目に株式報酬費用を追加：調整後EBITDA=営業利益+減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）+株式報酬費用

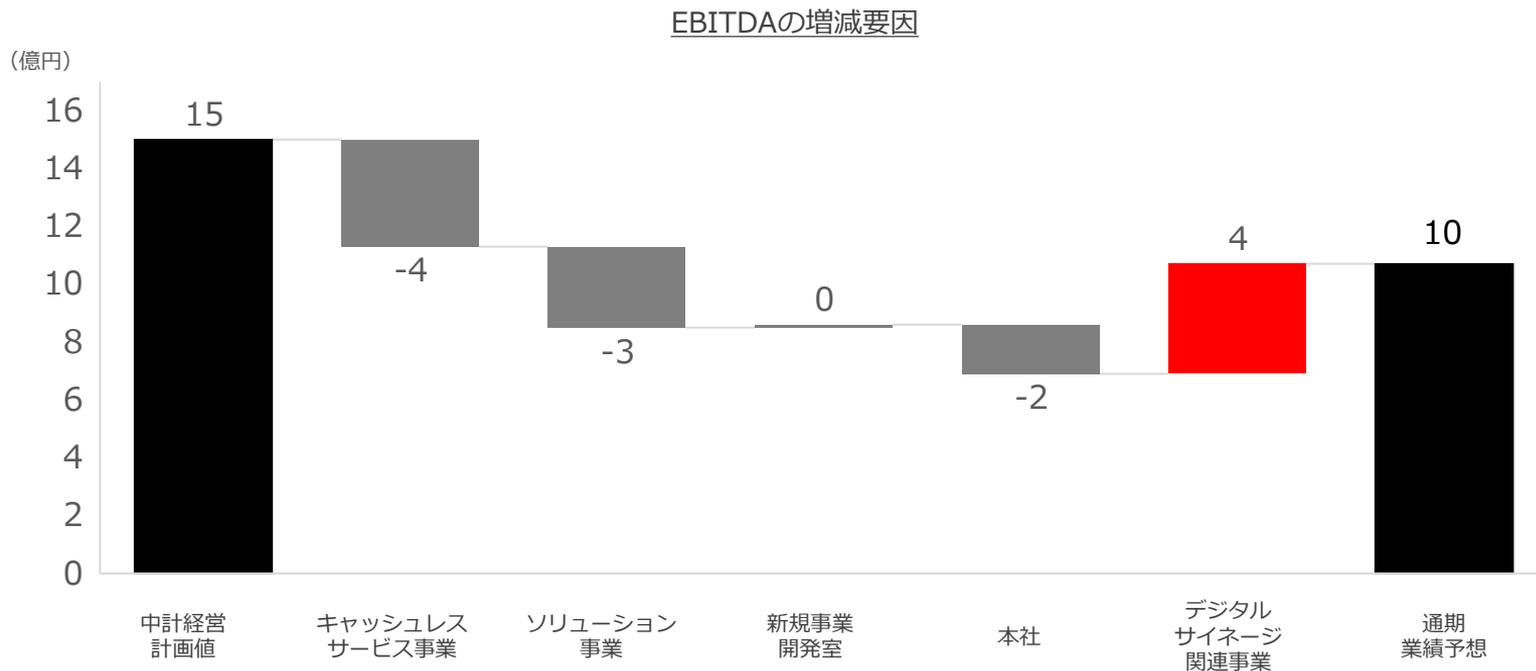
2025年8月期 中期経営計画と通期業績予想

2024年8月期は、中期経営計画で発表した計画値を上回る売上高68.5億円を達成。EBITDAは7.2億円となった。計画最終年度となる2025年8月期の売上高は中期経営計画で発表した70億円に対し90億円、EBITDAは10億円と予想。



2025年8月期 中期経営計画と通期業績予想のEBITDA増減要因

EBITDAは中期経営計画（中計）で発表した15億円に対して10億円と予想。キャッシュレスサービス事業へのシステム投資加速による一部費用化、ソリューション事業の低成長に起因するEBITDA減がある一方、デジタルサイネージ関連事業の経営統合によりEBITDA増を見込む。



1. 連結業績及びビジネス概況

2. 決算ハイライト

3. 来期計画について

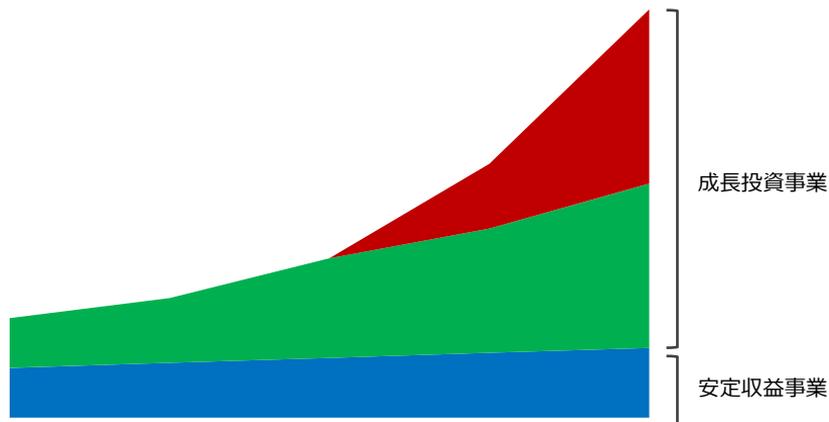
4. 事業別業績・指標

5. Appendix

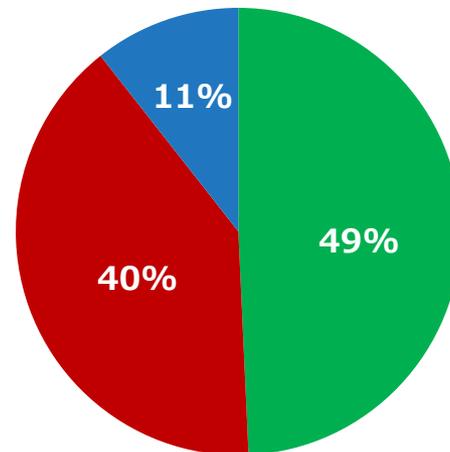
2024年8月期通期 事業別業績（全体）

各事業の位置づけと売上構成は、以下の通りです。

各事業の位置づけ



売上高構成（通期実績）



成長投資事業

キャッシュレスサービス事業

決済手数料収入を中心とした
リカーリングビジネス

デジタルサイネージ関連事業

定期的にリプレイスオーダーの入る
スポットビジネスと運用・システム
利用料のリカーリングビジネス

安定収益事業

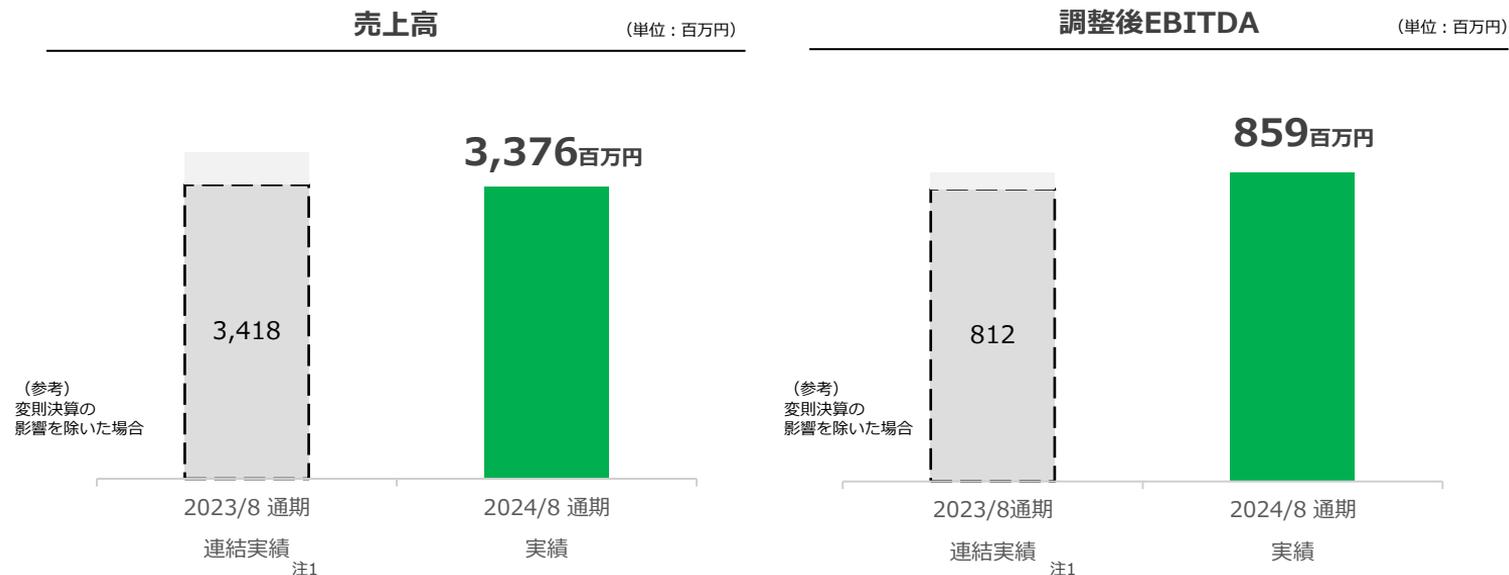
ソリューション事業

低い解約率で、安定的な収益を確保
するビジネス

■ キャッシュレスサービス事業
■ デジタルサイネージ関連事業
■ ソリューション事業

2024年8月期通期 キャッシュレスサービス事業の業績

新サービスの導入遅れ、受注済み顧客に起因するサービス展開の期ズレにより、通期売上高は変則決算を除いた前年同期比で42百万円減少。一方で決済手数料の着実な積み上げに加え、計画していた新規サービスの原価を抑え、調整後EBITDAは変則決算を除いた前年同期比で47百万円増加し、859百万円を計上。



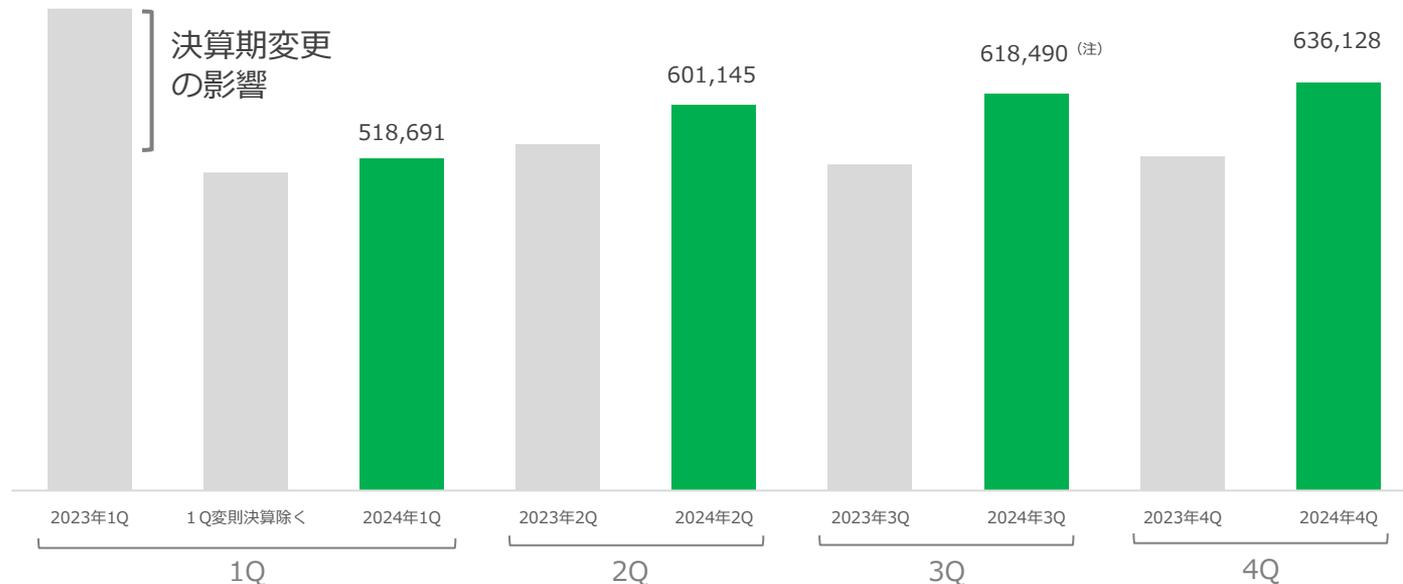
(注) 1. 旧アララの2022年9月～2023年8月（12か月分）及びバリューデザインの2022年7月～2023年8月（14か月分）を連結した変則決算

キャッシュレスサービス事業の第4四半期売上高前年同期比について

2024年8月期第4四半期のリカーリング売上は、2024年8月期第3四半期から伸長し636,128千円で堅調に推移。前年同期比122%。

リカーリング売上の推移

(単位：千円)



(注) 2024年10月15日公表(訂正)「2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」及び「2024年8月期 第3四半期決算説明資料」の一部訂正についてに基づき、2024年3Q数値を反映。

2024年8月期第4四半期キャッシュレスサービス事業の主要KPI

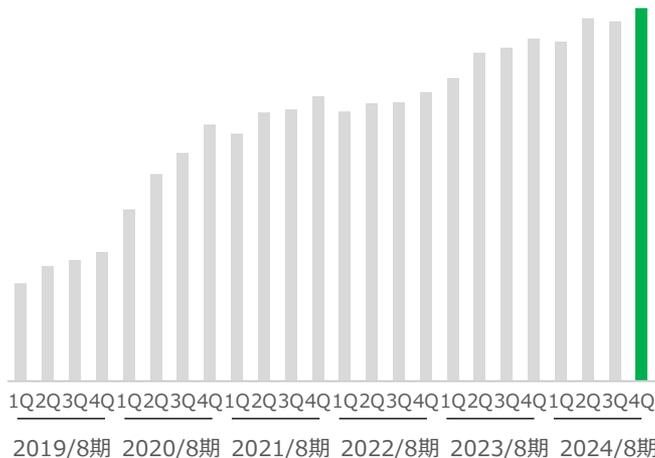
第4四半期の決済取扱高は3,483億円となり、引き続き堅調に推移。

新規顧客獲得により、累計店舗数・累計エンドユーザー数ともに堅調に拡大しているが、一部受注済み顧客への期ズレが生じている。

決済取扱高推移

(単位：億円)

3,483億円

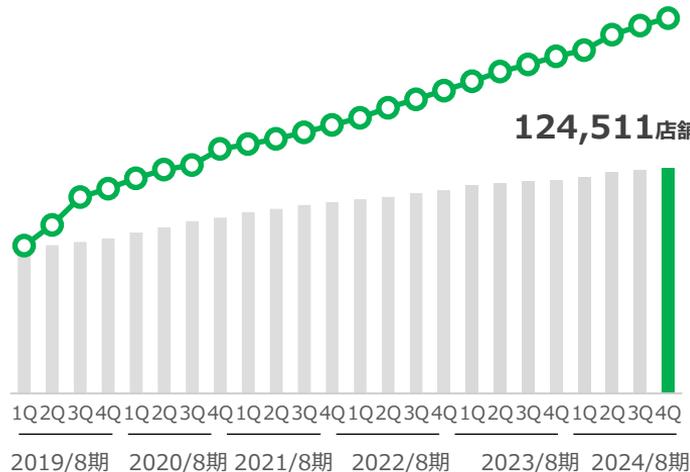


累計店舗数・累計エンドユーザー数推移

(店舗：店、エンドユーザー：千人)

207,457千人

124,511店舗



(注) 旧アララとバリューデザインのKPIの合算値を記載

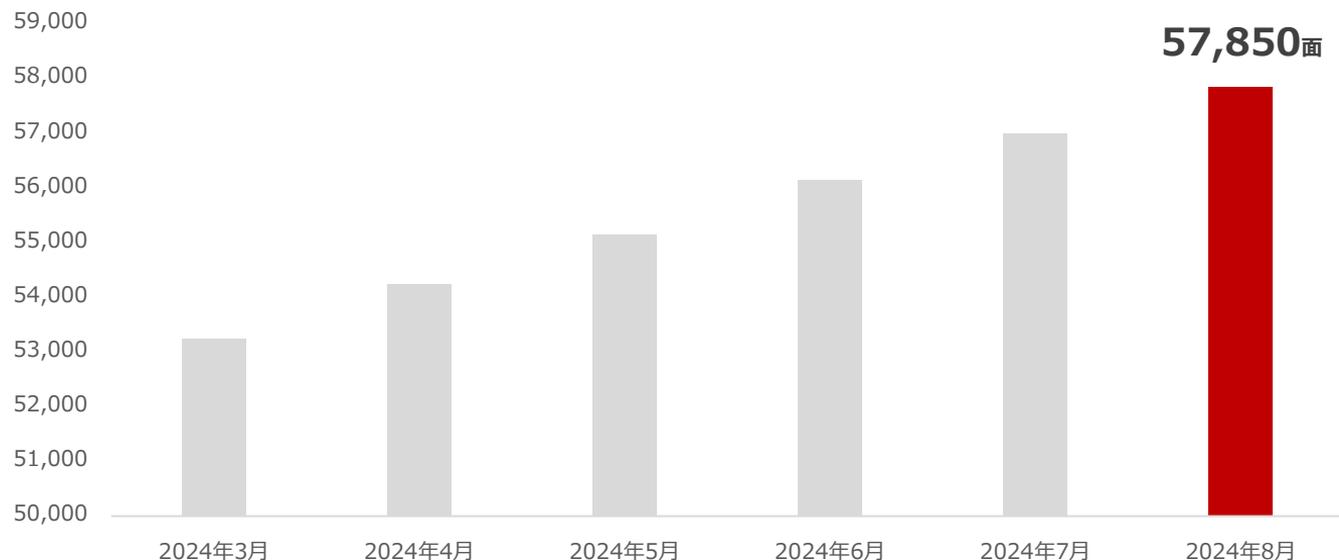
(注) リカーリング売上高に直結する取扱高を下記の通りとし、決済取扱高と定義

1. 独自Payの決済額（従前の“決済額”）
2. クレジットカード会社との包括契約を介した独自Payへの入金額（当期から指標に追加）

2024年8月期第4四半期デジタルサイネージ関連事業の主要KPI

経営統合以降、デジタルサイネージの新規設置面数は各月で着実に推移し、累計デジタルサイネージ設置面数は57,850面。大手コンビニエンスストア店舗内メニューボード（リテールメディア）、オフィス、商業施設などを中心にデジタルサイネージの導入が進んだ。

累計デジタルサイネージ設置面数 (単位：面)



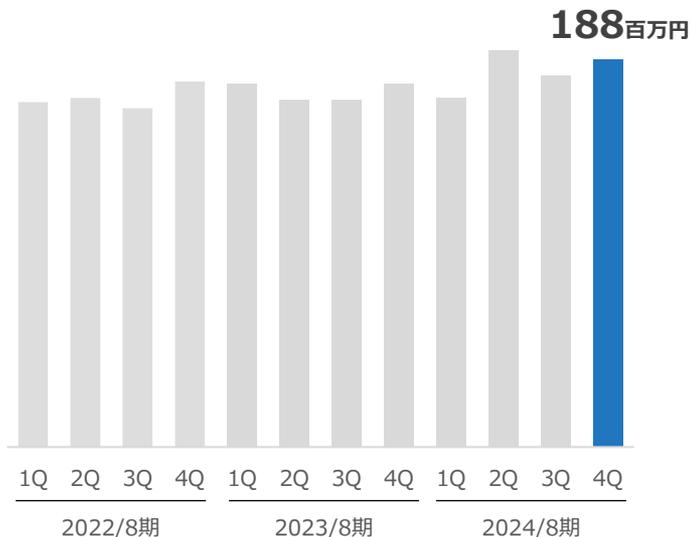
クラウドポイント最新事例紹介ページ
<https://www.cloudpoint.co.jp/case/>

2024年8月期第4四半期ソリューション事業の業績

メッセージングサービスの堅調な伸びとデータセキュリティサービスのスポット売上計上により、ソリューション事業全体での売上高および調整後EBITDAは第3四半期と比較して増加。堅調に推移。

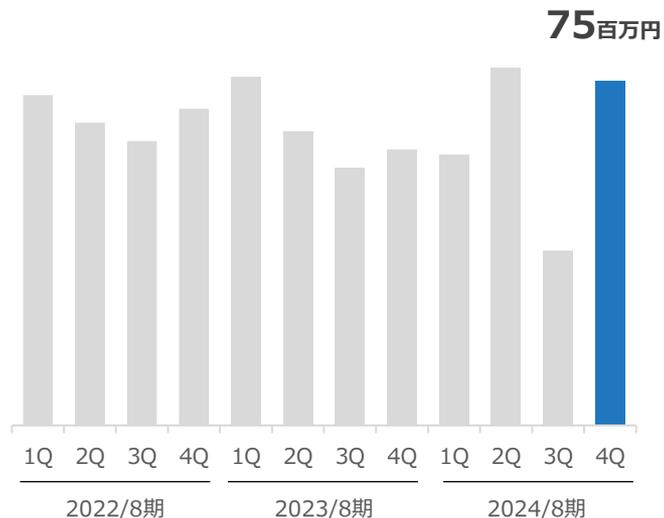
売上高推移

(単位：百万円)



調整後EBITDA推移

(単位：百万円)



1. 連結業績及びビジネス概況

2. 決算ハイライト

3. 来期計画について

4. 事業別業績・指標

5. Appendix



会 社 名 ペイクラウドホールディングス株式会社

代 表 者 代表取締役副会長 岩井 陽介
代表取締役社長 尾上 徹

設 立 年 月 日 2006年8月

役 員 構 成 取締役会長 三浦 巖嗣 社外取締役 金子 毅
代表取締役副会長 岩井 陽介 社外取締役 井上 昌治
代表取締役社長 尾上 徹 社外取締役 種谷 信邦
取締役副社長 井上 浩毅 社外取締役 米田 恵美
取締役 林 秀治

本 社 所 在 地 東京都港区南青山二丁目24番15号 青山タワービル

資 本 金 1,021百万円 (2024年8月末時点)



valuedesign

Cloudpoint

arara

社名 **株式会社バリューデザイン**

株式会社クラウドポイント

アララ株式会社

代表者 代表取締役社長 林 秀治

代表取締役 三浦 巖嗣

代表取締役社長 門倉 紀明

資本金 100百万円（2024年8月末時点）

230百万円（2024年8月末時点）

5百万円（2024年8月末時点）

事業内容 キャッシュレスサービス事業

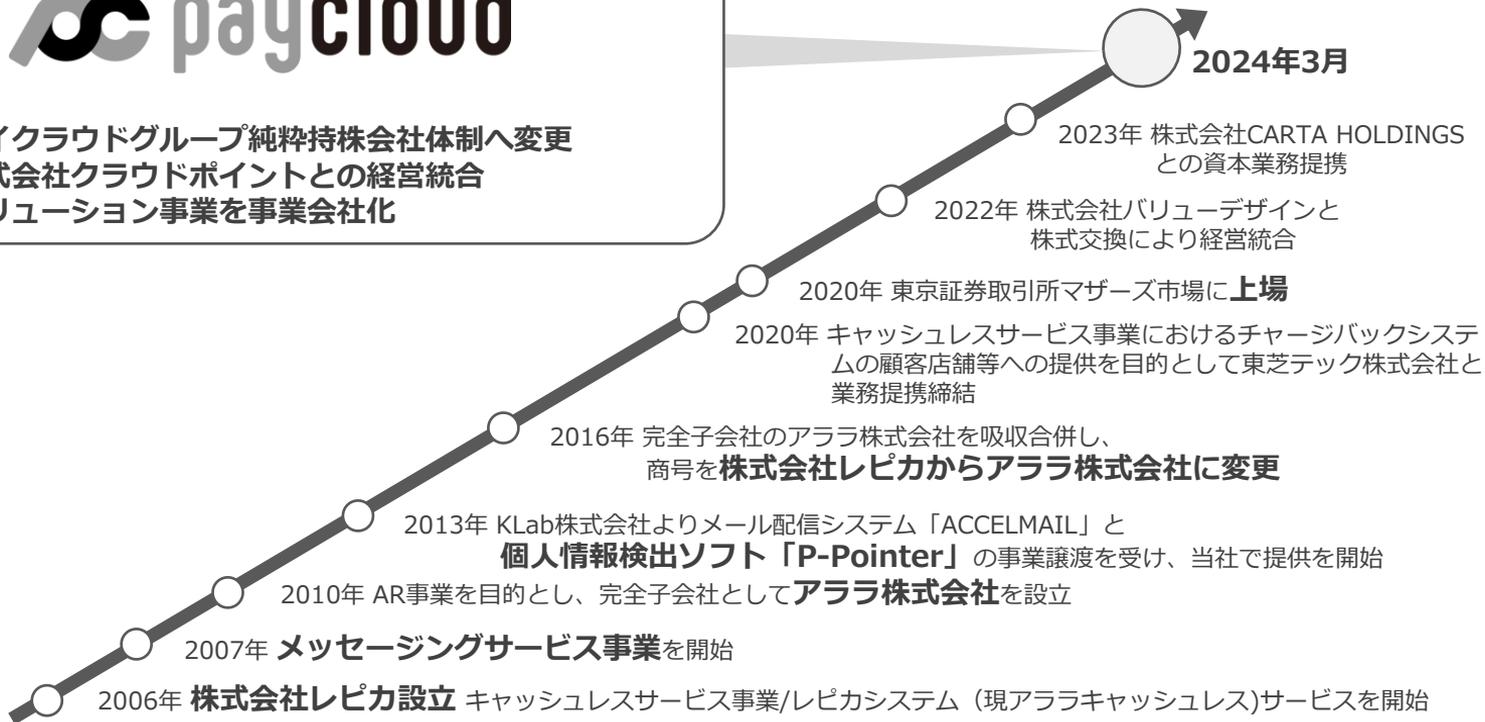
デジタルサイネージ関連事業

メッセージングサービス等を含む
ソリューション事業

※株式会社バリューデザイン、株式会社クラウドポイント、アララ株式会社は、ペイクラウドホールディングス株式会社の100%子会社です。



- ・ペイクラウドグループ純粋持株会社体制へ変更
- ・株式会社クラウドポイントとの経営統合
- ・ソリューション事業を事業会社化



月次報告・メディアでの発信

ホームページ上で月次業績報告を開示。四半期ごとの決算説明をIRTVにて公開。
X（旧Twitter）にて公式チャンネルや副社長 井上による情報発信を行っております。

月次業績報告



メディア・SNSでの発信



パイクラウドHD【公式】



パイクラウドHD副社長 井上



重要指標等の定義

カテゴリ	用語	定義
重要指標	決済取扱高	独自Payの決済額およびクレジットカード会社との包括契約を介した独自Payへの入金額の合計
	顧客社数・導入企業数	当社のサービスを活用している顧客の数
	調整後EBITDA	利払い前・税引前・減価償却前・その他償却前利益・株式報酬費用
	顧客	当社のサービスを活用する企業
	エンドユーザー	当社サービスを利用する最終消費者
	リカーリング売上	継続的なサービス提供等により、長期的に収益を得られる売上
	SaaS (Software as a Service)	クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを經由して利用できるサービス
キャッシュレスサービス	独自Pay	キャッシュレスサービスを利用し、顧客が店舗の常連客向けに提供する特典や優遇サービス
	チャージバック	メーカーの販促費を、エンドユーザーと顧客に独自Payで還元する販促サービス
	クルクル	QRコードを介して顧客の店舗が消費者へコンタクトできる情報配信サービス
	Value Card	キャンペーン提案からオペレーションまでサポートする独自ブランドのクラウド型電子マネー発行サービス
	Value Insight	POSの購買情報やアプリの利用動向等のデータを統合・分析するSaaS型のデジタルマーケティングツール
	Value Gift	メールやSNS等を通じてデジタル化された残高情報を送付できるデジタルコード発行サービス
	Value Wallet	独自Pay機能を搭載した店舗オリジナルアプリ
	Value Gateway	独自Payと同時に、各種QR等コード決済サービスの導入をサポートするサービス
	ディストリビューション機能	直接顧客には販売せず、販売チャネルへサービスを卸す機能
ソリューション	アララ メッセージ	到達率向上・自動化・効果測定により円滑なメールマーケティングを実現するメール配信システム
	P-Pointer	PCやファイルサーバ内に点在する個人情報ファイルを検出する個人情報検出ツール
デジタルサイネージ	CloudExa	専用の配信管理アプリケーションを介して、インターネット上に設けられたCloudExaサーバにアクセスし、映像素材のアップロードや放映スケジュールの編成、放映端末への遠隔配信・監視操作が行えるデジタルサイネージシステム
	LED WORLD	クラウドポイント社が販売を行うフルカラーLEDビジョンのオリジナルブランド

ディスクレーマー

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望にも言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在しております。

既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、当記述を作成した時点において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものです。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等に基づいております。